

●指導計画

第5学年

《児童の今までの姿》

今まで、児童はふるさとのよさに触れてきている。地域の方に協力いただき、和紙作りや神楽面作り、田植え、稲刈りも体験した。これらの経験については単なる体験の一つとしてしか捉えてない児童が多い。これまでの様々な体験が、郷土の文化や伝統の継承の一端を担っているという思いまでには至っていない。

各教科，学校行事，道徳科の関連を年間指導計画に示す

単元ごとに思考が切れず、つながりがある！

学校の特色を生かす！

社会科

米作りのさかんな地域

農業について、それに従事している人々の様々な工夫や努力によって発展していることやそのことにより国民生活の維持と向上が図られていることに関心を持つ。

国語科

きいて、きいて、きいてみよう

収集して知識や情報を関連付け、目的や意図に応じて構成を工夫する。
・地域の米農家の方にインタビューする。

国語科

次への一步——活動報告書

文章全体の効果を考え、目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりするとともに、表現の効果などについても工夫することができる。
・米作りや山根村長について報告書にまとめる。

学校行事

やまゆり訪問（やまゆり活動）

地域の人たちの協力を得ながら、長い間続けられてきたやまゆり訪問の意義を確かめ、やまゆり活動を中心とした「行動する」ことの大切さを考える。
・地域の方とやまゆり採取をし、花束を作って患者さんに届ける。

各教科，学校行事，道徳科の関連を年間指導計画に示す

総合的な学習の時間

ふるさとの歴史・伝統・文化から地域の良さを見つけよう

地域の発展に尽くした偉人を調べ、情報の収集や整理をする。
・上水路作りを通して、上殿地域を救った山根村長について調べる。

道徳科

大地と人の心をうるおす通潤橋 郷土のために行動する

（内容項目 C 伝統や文化の尊重、国や郷土を愛する心）

何度失敗しても保之助が橋を完成させようと挑戦した理由を考えることを通して、ふるさとを大切にするためにどんな気持ちで何ができるかを考えると同時に郷土を愛する心情を養う。

総合的な学習の時間

ふるさとの歴史・伝統・文化から地域の良さを見つけよう

地域の方と一緒に米作りを実際に体験する。

体験を毎年のイベントとして終わらせない！

《期待する児童の姿》

先人の努力を知り、自分もまたそれを継承し発展させていくべき責務があることを自覚し、そのために努めようとする。

「自分たちが田植えをした田んぼは、昔の上殿の人たちが水路を作ってくれたおかげなので、当時の人に感謝してお米を作りたい。」

「やまゆり活動にはたくさんの地域の方が関わってくださっていることが分かった。これからも、地域の方と一緒に上殿の行事に参加していきたい」